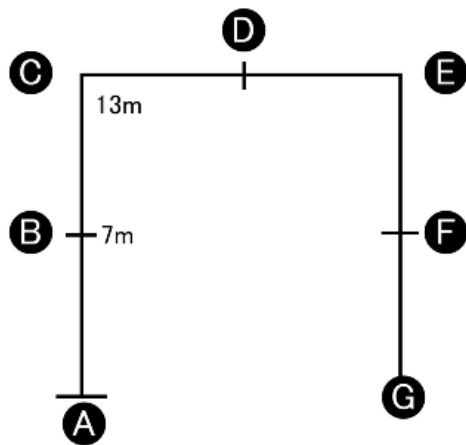


【競技会 課目実施要項】



・1直線13mのコの字で作業を行います。

2部	
1. 紐なし脚側行進	(10点)
2. 常歩行進中の立止	(10点)
3. 常歩行進中の伏臥	(10点)
4. 常歩行進中の停座 及び招呼(一旦停止)	(10点)
5. ダンベル持来	(10点)
6. 障害飛越	(10点)
7. 休止	
	合計70点

①紐なし脚側行進

脚側停座した犬から引紐を解き、これを肩に掛けるか、たすき掛けにする。
往路は常歩、復路は速歩とする。指導手は復路スタート地点に戻り
反転後、停止したならば直ちに、犬に脚側停座をさせる。

②常歩行進中の立止

脚側停座から、常歩行進中、B点で指導手は歩度を変えたり、振り返ることなく
犬に「立止」を命じる。指導手はそのまま直進し、C点で反転し犬に対面する。
審査員の指示により犬のもとに戻り、犬の右側に立って審査員の指示で脚側停座させる。

③常歩行進中の伏臥

常歩で脚側行進を行ない、D点で指導手は歩度を変えたり、振り返ることなく
犬に「伏臥」を命じる。指導手はそのままE点まで直進し、犬に対面する。
審査員の指示により犬のもとに戻り犬の右側に立って、審査員の指示で脚側停座させる。

④常歩行進中の停座及び招呼(一旦停止)

常歩で脚側行進を行ない、F点で一旦停止し、「脚側停座」を命じ、犬を待座させ
指導手はそのままG点まで直進し、犬に対面する。審査員の指示で犬を招呼する。
指導手の直前に停座するか、又は直接、脚側に停座する。
直前に停座した場合犬は指導手の後ろを回っても直接、左脚側に停座しても良い。

⑤ダンベル持来

脚側停座から、ダンベルを所定の位置より約8m前方に投げ
審査員の指示により「持来を促す声符」を命ずる。
犬はダンベルを咥えたまま指導手の直前に停座することを原則とするが
直接指導手の脚側に停座しても良い。
審査員の指示により指導手がダンベルを取り上げるまで、これを咥えていなければならない。
犬を指導手の前に停座させた場合には、ダンベルを受け取り、審査員の指示なしで
犬に脚側停座を命ずる。犬が脚側停座するまで指導手は位置を変えてはならない。
直前に停座した場合、犬は指導手の後ろを回っても、直接左脚側に停座しても良い。